

# スポーツ施設整備基本方針について



第3次豊田市生涯スポーツプランで目指す「生涯スポーツの姿」の実現に向け、スポーツに対する市民ニーズと施設の整備状況を踏まえた施設整備の方向性をまとめました。

今後は、本基本方針に基づき、スポーツ施設の整備を進めていきます。

## 1 スポーツ施設を取り巻く現状

### (1) 市営体育館、運動広場の整備状況

・「1地域1体育館」「1地区1運動広場」を原則とし、地域バランスを考慮して計画的に整備を進めてきた身近なスポーツ実施環境は、地域型スポーツ施設と当機能を補完する類似施設で対応できていると判断する。

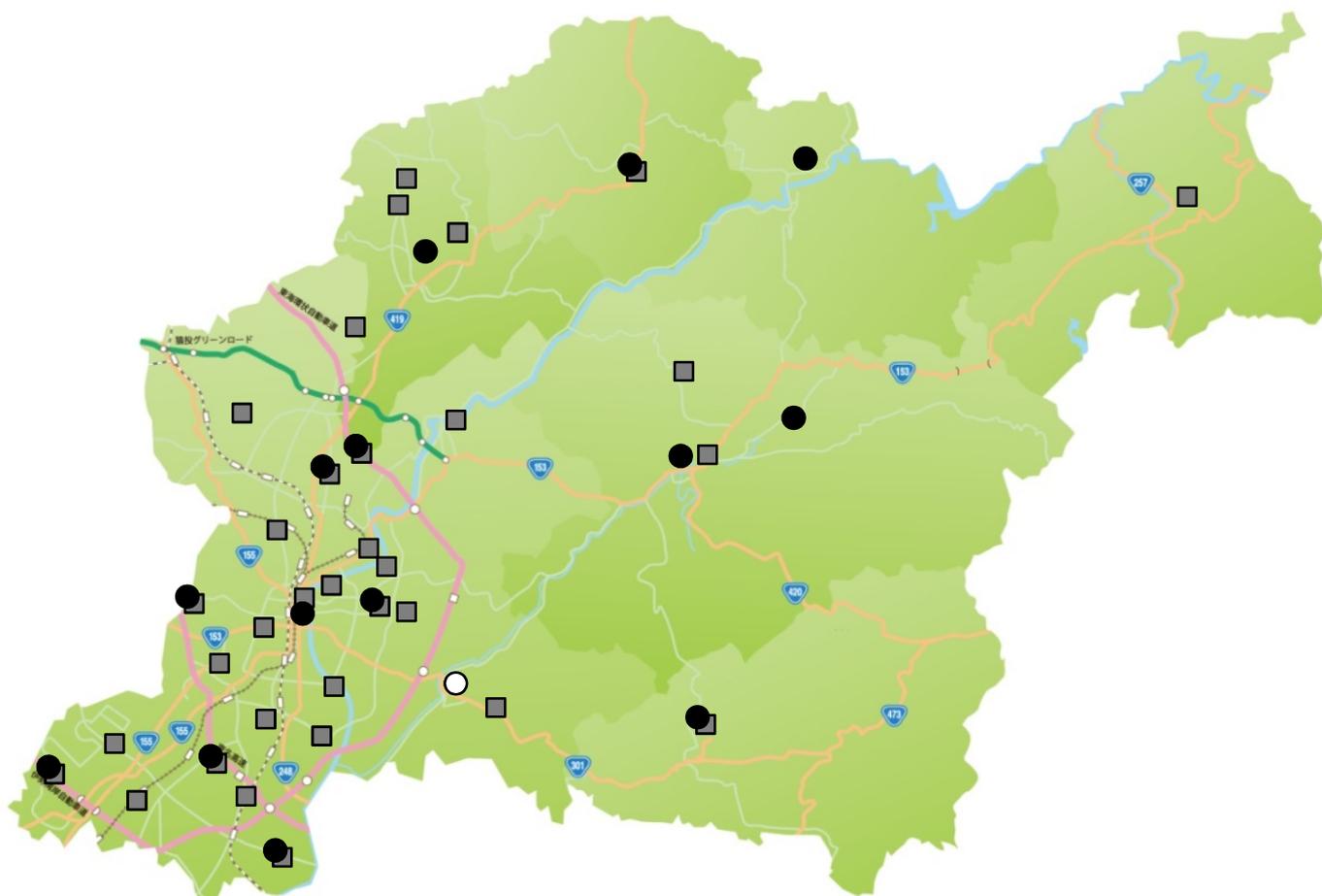
※地域内に体育館及び運動広場の機能を補完する施設が存在する場合などは、住民の利用ニーズに対応できているものとしている。

地域：旧市町村区域をエリアとする12の地域

地区：中学校区をエリアとする28の地区

●：地域体育館（14 + 整備中1施設）※○は整備中（令和2年5月1日現在）

■：運動広場（33施設）



## (2) 県内の同規模自治体との市営施設数の比較

- ・主要なスポーツ施設数は、同規模自治体を上回る整備水準であり、民間施設を含めた場合のスポーツ実施環境も充実している。

自治体名		体育館	運動広場	専用野球・ソフト場	専用サッカー・ラグビー場	テニスコート	プール
豊田市	市営	14	33	4	7(12面)	24(64面)	6
	民間	1	2	0	1(1面)	5(一面)	14
岡崎市	市営	6	32	2	3(3面)	9(42面)	0
	民間	—	—	—	—	—	—
豊橋市	市営	12	10	3	3(3面)	6(28面)	2
	民間	0	0	0	0(0面)	3(一面)	10

※令和元年10月1日現在、「—」はデータなし 【単位：施設】

※「民間」は日常の市民利用が可能な民間施設等

## (3) 市内のスポーツ実施環境

### 【日常のスポーツ実施環境】

- ・充実した市営スポーツ施設に加え、小中学校の学校開放や、プールやフィットネスクラブをはじめとする民間スポーツ施設など類似の機能を有する様々な施設が利用可能であり、サッカーや水泳、テニスなど主要な競技種目の市民ニーズを受け止める環境は充実している。

### 【大会等】

- ・日常は一般の市民利用ができない施設においても、複数の企業、大学等から大会等の利用受入が可能との回答が得られている。

分類		体育館	運動広場	野球・ソフト	専用球技場	テニス場	プール	武道場	陸上競技場	その他
市営スポーツ施設		14	33	4	7	24	6	4	1	25
民間施設等		1	2	0	1	5	14	11	0	61
学校開放	小学校	75	75	0	0	0	0	0	0	0
	中学校	28	28	0	0	10	0	19	0	0
	高校	5	5	0	0	0	0	5	0	0
その他公営施設		5	6	0	0	3	0	0	1	2

※「民間施設等」は日常の市民利用が可能な施設 【単位：施設】

### ■現状を踏まえた評価（今後の施設整備の展望）

- ・市民に身近なスポーツ実施環境が確保されている現状を踏まえ、施設整備の考え方の転換を図る時期にきている。
- ・今後は、施設の老朽化に計画的・着実に対応していくとともに、新たな市民ニーズの高まりや変化への柔軟な対応が求められる。
- ・また、大規模な大会等を開催可能な専用施設の整備要望等に対しては、市での整備を前提とせず、スポーツ施設を有する市内大学や企業等との連携を深め、利用受入の調整を図ることによる対応を第一に検討する。

## 2 基本方針

- 原則、第8次総合計画期間中（平成29～令和6年度）は、①新たなスポーツ施設を整備しない。
- ただし、②具体的な必要性が真に認められる場合に限り、新たな施設整備や既存施設の大規模改修の是非を検討する。

### 【①施設種別ごとの対応の考え方】

施設種別	対応の概要
体育館	【現状】旧市内の施設では土日祝はすべて8割を超える高稼働率であり、利用ニーズが高い。ニーズの新たな受け皿として、松平地区で体育館の新設を進めている。 【対応】松平地区への体育館新設でニーズに対応できる見込みであり、今後の利用状況の変化を注視していく。
運動広場	【現状】地域住民を中心に多様な利用がされているが、稼働率には余裕のある施設も多い。 【対応】計画的に進めてきた整備は完了したため、新たな施設整備はせず、現行施設での運用を基本とする。
専用野球場・ソフトボール場	【現状】各施設の稼働率が高いが、日々の練習等は多くの運動広場での対応が可能である。 【対応】日常利用は運動広場を含めた既存施設での対応を基本とし、大会などは必要に応じて民間施設との連携による受入の調整を進める。
専用サッカー場・ラグビー場	【現状】各施設の稼働率が高いが、日々の練習等は多くの運動広場での対応が可能である。 【対応】種目の性質上、日常利用から芝環境であることが望ましいため、天然芝施設の稼働率を高める方法の検討などを行う。
テニスコート	【現状】旧市内の施設では土日祝は7割程度の安定した稼働率であり、高齢者を含む個人の利用も多い。 【対応】日常利用は既存施設での対応を基本とし、多面型テニスコートを必要とする大会などは民間施設との連携による受入の調整を進める。
プール	【現状】市営の6プールに加え、14の民間プール等が存在しており充足度は高い。 【対応】日常の利用は民間を含めた既存施設での対応を基本とし、大会などは必要に応じて民間施設との連携による受入の調整を進める。
マレットゴルフ場	【現状】自治区が設置したマレットゴルフ場に市が原材料・消耗品を支給する仕組みが一般的になっており、概ね市営と自治区のすみ分けができています。 【対応】現行の原材料・消耗品支給による運用を基本とし、地域が主体となったコース整備・運用とする。
その他の施設（弓道場など）	【現状】市内における各種目の実施環境は、施設の稼働率等からも充足している。 【対応】新たな施設整備はせず、現行施設での運用を基本とする。

## 【②必要性が真に認められる場合（今後の施設整備の視点）】

### （１）スポーツを生かしたまちづくり（まちの活性化）に必要と判断した場合

#### ①スポーツツーリズムの推進に向けた施設整備

- ・充実した高速道路網や好立地を生かし、全国規模の大会やイベント等の戦略的な誘致により、まちに経済効果や賑わいをもたらすため、スポーツツーリズムの推進を担うべき施設に求められる機能を整理し、施設の老朽化対策に合わせた改修などを行う。
- ・また、都市部でのスポーツツーリズムの展開に加え、豊かな自然を生かした山村部でのスポーツツーリズムの可能性を検討する。
- ・特に以下の２施設は、スポーツツーリズムの推進拠点として大いに活用していく必要があるため、当面はこれら２施設が有するべき機能の具体化に向けた整理を進める。

#### ＜中央公園（豊田スタジアム）＞

- ・中央公園第２期整備において、豊田スタジアムを生かしたスポーツツーリズムを効果的に加速するために整備すべき施設の機能等を検討する。

#### ＜スカイホール豊田＞

- ・スポーツのプロリーグや大規模イベント等の誘致における施設の優位性を高めるため、興行場として不足している機能の検証等を行う。

### （２）施設利用者の安全・安心、利便性確保のために必要と判断した場合

#### ①施設の計画的な修繕・改修等による老朽化、利便性向上への対応

- ・施設の老朽化が進む中、市民の安全・安心や時代に即した機能・利便性の確保、費用対効果の観点から、施設の改築や改修等の必要性を検討し、計画的に対応していく。

#### ②熱中症対策の拡充

- ・厚生労働省や環境省の通知等を踏まえたソフト対策（こまめな水分補給、帽子の着用の周知など）を基本とし、必要に応じて施設ごとの利用状況等を考慮した個別の対策を検討する。

### （３）新たなスポーツニーズやニーズの変化への対応が必要と判断した場合

#### ①新たなスポーツニーズ等への対応

- ・競技人口が一定数いながら市内に実施環境がない種目に対する機運の高まりや、地域の状況の変化など具体的なニーズを確認できた場合は、市として施設を整備する必要性・妥当性を検討する。
- ・また、競技人口の増減による明らかな施設数の過不足やニーズの変化等を確認できた場合は、新規施設の整備や既存施設の廃止等の必要性を検証する。